

コミュニティバスと、まちの情報をお届けします。

とつべつバス通信



2010年11月1日発行 発行: 当別町地域公共交通活性化協議会

12月1日
ダイヤ改正

「ふれバ」の路線・ダイヤが、12月から変わります!

変 バス停「あいの里4条8丁目」が
交差点の東側に移動します!



西当別・あいの里線の 路線が変更!

西当別・あいの里線の路線の一部(あいの里4条8丁目) ↓あいの里東中学校)が変更になります。
これは、現在運行路線のあいの里東小学校東側の道路が、

こんにちは、とつべつバス通信です。短かった秋が過ぎ、雪虫を見かけるようになってきました。もう、衣替えはお済みですか?
さて、今回のバス通信は、12月に改定となる当別ふれあいバスの運行ダイヤ・路線についてと、先月開催された「バスまつり2010」の様子をお伝えしていきます。



冬期間の積雪により道路幅が狭くなるため、運行の安全を確保することを考えた路線変更です。

この路線変更に伴い、「あいの里4条8丁目」のバス停を交差点の西側から東側へと移動することになりました。
ご利用いただいているみなさまには、大変ご不便をお掛けいたしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

全路線でダイヤが 変更になります

当別ふれあいバスは、これまで国の補助金を受けて運行してきましたが、来年度より、運行収入と参加事業者の負担金のみで運行する自主自立の運営になります。そのため、今まで実証運行ということで運行台数を5台まで増やし運営してきましたが、

本来の運行台数の4台に戻すことになりました。

これに伴い、平日便は市街地循環線の1便減便、金沢線の医療大行き11時15分と当別駅南口行き15時43分の2便を減便し、休日便は西当別あいの里線の太美行き17時45分と当別駅南口行き18時20分の2便を減便、みどり野・青山線の当別駅南口行き17時30分の1便を減便するほか、SuiSuiふれバを廃止いたします。

また、ダイヤもJR接続にあわせた改正をはじめ、あいの里線の路線変更など、全路線の所要時間を50分から40分に短縮するなど、より利用しやすいダイヤへと変更します。詳しくは、広報とうべつ11月号と一緒に配布される「路線図・時刻表」でご確認ください。
当別ふれあいバスは、みなさんのご利用が減少すると、さらなる減便や路線の廃止も考えなくてはなりません。今後の運行は、みなさんのご協力とご理解が必要ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

SuiSuiふれバは、2010年11月末で廃止いたします

平成20年度から実証運行を行ってきたSuiSuiふれバですが、利用客数が伸びず、赤字運行となっており、平成23年度からは国の補助金を受けられなくなるため、12月1日からのダイヤ改正に伴い、今年11月30日をもって廃止することになりました。ご利用いただいていたみなさまには、ご不便をおかけすることになり大変申し訳ございません。短い期間でしたが、どうもありがとうございました。



コミュニティバス、
本バス通信へのお問合せ

当別町地域公共交通活性化協議会事務局(当別町企画部企画課内)
〒061-0292 当別町白樺町58-9 TEL0133-23-3042 FAX0133-23-3206

交通すごろく大会

当別町が舞台になったすごろくは、ゴールを目指すだけでなく、楽しみながら環境の勉強もしました。

交通〇×クイズ大会

ふれバを題材にした、〇×クイズ大会では、札幌で活動するお笑い芸人「直キング」と「アフロンゲ」が会場を盛り上げてくれました。

てんぷら油の回収

今年もたくさん使用済みてんぷら油が回収できました。回収した油は精製され、クリーンなバイオディーゼル燃料となり、ふれバで再利用されます。

子ども屋台

石狩管内の小学生による子ども屋台では、焼きそばや焼きホタテ、ケーキなどが販売され、来場者のお腹を満たしました。

セグウェイ試乗会

近未来の乗り物セグウェイが登場し、スムーズな動きに、多くの人の興味を引きました。

来場者4,000人を突破で、「バスまつり2010」は大盛況！

10月9日(土)、「JR石狩当別駅前南口駐車場」で、2回目となる「バスまつり2010」が開催されました。このイベントは、地域のみなさんに、当別ふれあいバスをはじめとする、公共交通に関心や興味を持ってもらい、利用してもらうことを目的として行っているものです。会場には、昨年の来場者数2,000人の倍にも上る4,000人以上が来場しました。

今年のイベントでは、札幌で活動するお笑い芸人による交通〇×クイズ大会をステージイベントとして開催した他、会場内を巡るスタンプラリー、管内小学生による子ども屋台、当別町初登場のまき太郎やファイターズ号のバス試乗会、セグウェイの試乗会などを開催しました。

ご来場いただき、ありがとうございました！

スタンプラリー

会場内のイベントブースを巡って集めるスタンプラリーは、子どもから大人まで、完全制覇を目指して楽しんでいました。

バスぬり絵大会

ふれバやまき太郎のぬり絵が登場。みんな夢中になって、ぬり絵を完成させていました。

バリアフリー教室

車いすを使って、車いすの扱い方や、操作方法などを学びました。

バスの乗り方教室

ポンチヨを使って、バスの乗り方教室を開催。乗り降りしやすい低床バスは、子どもからお年寄りにもやさしいバスです。

バス試乗会

当別町初登場となる、薪を燃料に走る「まき太郎」や北海道日本ハムファイターズ選手が使用している「ファイターズ号」の試乗会を開催。多くの方が、順番待ちをしながら試乗を楽しんでいました。

バス待合所をご寄贈いただきました！

木製カーポートやガーデニング・外構エクステリアなどを行っているトーホテック株式会社様(当別町獅子内708-38)より、バス待合所をご寄贈いただきました。今回のご寄贈は、トーホテック株式会社様の創業20周年を記念して行われたものです。

ご寄贈された新たなバス待合所は、西当別・あいの里線の西当別中学校前に設置予定です。

トーホテック株式会社様、どうもありがとうございました！



トーホテック株式会社様より

ふれバス通信



2010年12月1日発行 発行：当別町地域公共交通活性化協議会

冬休み子ども定期券 今年も発売!

昨年に引き続き、12月16日(木)から「冬休み子ども定期券」を発売いたします。

この定期券は、12月23日(木・祝)～平成23年1月16日(日)の期間中、小学生500円、中学生1,000円で当別ふれあいバスが乗り放題になる、とってもお得な定期券です。
冬休みに通う塾や、いつも遊ぶお友達の家へ行くときも、冬休み子ども定期券を使えば、**5回乗車分の料金で何回でも利用できる**ので、とっても経済的です。

冬休み子ども定期券を使って、冬休みを思いっきり楽しんでみてはいかがでしょうか？

こんにちは、今年最後のとうべつバス通信です。今年も残すところ後わずかですね。みなさん、今年の出来事で、一番思い出に残ったことはどのようなことでしたか？
さて、今回のバス通信は、冬休み期間中、ふれバをお得に利用できる「冬休み子ども定期券」についてや、西当別小学校で行われた「交通と環境」の学習の様子などをお伝えしていきます。

冬休み
期間中
乗り放題!

冬休み子ども定期券

- ➡販売期間:平成22年12月16日(木)～平成23年1月16日(日)
- ➡有効期間:平成22年12月23日(木・祝)～平成23年1月16日(日)
- ➡料 金:小学生/500円 中学生/1,000円

当別ふれあいバス応援券販売所**6**か所で販売します

(有)下泉モーターズ・ふれあい倉庫・当別町商工会・当別町社会福祉協議会内
「高齢者クラブ連合会」事務局・スウェーデンビルズ管理センター・小高商店



12/1
(水)より

新ダイヤ 新スタート

今月から新しいダイヤと路線で運行していきます。

バスをご利用の際は、時刻表をご確認の上、お間違えのないようご注意ください。

新しいバスマップは、広報とうべつの11月号と同時に各ご家庭に配布しているほか、当別ふれあいバス応援券販売所や当別町役場、太美出張所にありますので、ご自由にお持ち帰りください。



ふれバ

コミュニティバス、
本バス通信へのお問合せ

当別町地域公共交通活性化協議会事務局(当別町企画部企画課内)
〒061-0292 当別町白樺町58-9 TEL0133-23-3042 FAX0133-23-3206

かしいクルマの使い方を考える

『交通と環境』の学習を 西当別小学校で行いました。

当別町地域公共交通活性化協議会では、当別町内の小中学校を対象に「交通と環境」の学習のお手伝いをしています。

今回は11月10日(水)に、

西当別小学校の5年1組と2組の教室におじゃまし、「乗りものと環境」をテーマに、クルマが地球温暖化に与える影響やかしいクルマの使い方方の学習を行いました。授業は、3時間限行い、1時間限目は

クルマと地球温暖化の関係について、2時間限目はクルマのいろいろな使い方や、ふれバのバスマップを使ったバスの乗り方の学習を行いました。



3時間限目は、ふれバの燃料となる使用済みてんぷら油から精製したバイオディーゼル燃料の話と、ふれバの乗車体験を行いました。

乗車体験では、ふれバの排気ガスを嗅ぐ体験も行い、初めての匂いに生徒



たちは、笑顔になったり渋い顔をしたりとさまざまな反応をみせていました。

バスは、小学校周辺を20分程度巡り、車内では乗車マナーの話や、ふれバの路線の説明をしました。

今回の学習で、初めてふれバに乗る生徒たちも多く、この体験を通じて、ふれバを身近に感じてもらう、クルマ以外の交通手段の一つとして利用いただければと思います。

西当別小学校のみなさま、どうもありがとうございました。

ふれバからのお願い
バスを待つ時は
バス停のそばで



冬になると外で待つのは、寒くて大変辛いもの。近くの建物に入ってバスを待つことが多くなると思いますが、バスはバス停に人が待つていなければ停まりません。天候や乗降者の状況によって、定刻より遅れることがあります。到着予定時刻が近づいたら、バス停近くでお待ちいただくようお願いいたします。

ふれっバス通信



2011年3月13発行 発行：当別町地域公共交通活性化協議会

こんにちは、今年度最後のふれっバス通信です。雪が融け始め、春の気配が感じられる今日この頃、みなさんいかがお過ごしですか？

さて、今回のバス通信は、来年度から始まるふれバの本格運行のお知らせをはじめ、住民アンケート調査のご協力をお願い等を中心にお伝えしていきます。



平成23年4月から補助に頼らない

ふれバの本格運行が始まります！

当別ふれあいバスは、平成18年度から国の補助金を活用し運行してきましたが、今年度で補助金の交付期間が終わるため、平成23年度からは、私たち住民の力だけで自立した運行をしていかなければいけません。

今年度の運行収入と乗降客数を、これまでの実績と比較すると増加傾向にあります(下図参照)が、まだまだ十分な利用者数とは言えません。

来年度からは、利用者が減り収入が減ると、運行ダイヤの減便をはじめ、路線の廃止も検討しなければなりません。

高齢化が進む社会にあつては、公共交通の果たす役割はますます重要なものとなります。

ふれあいバスをなくさないために、クルマの利用を数回に1回ふれあいバスに代える。そんな利用の仕方を始めていただけるようお願いいたします。



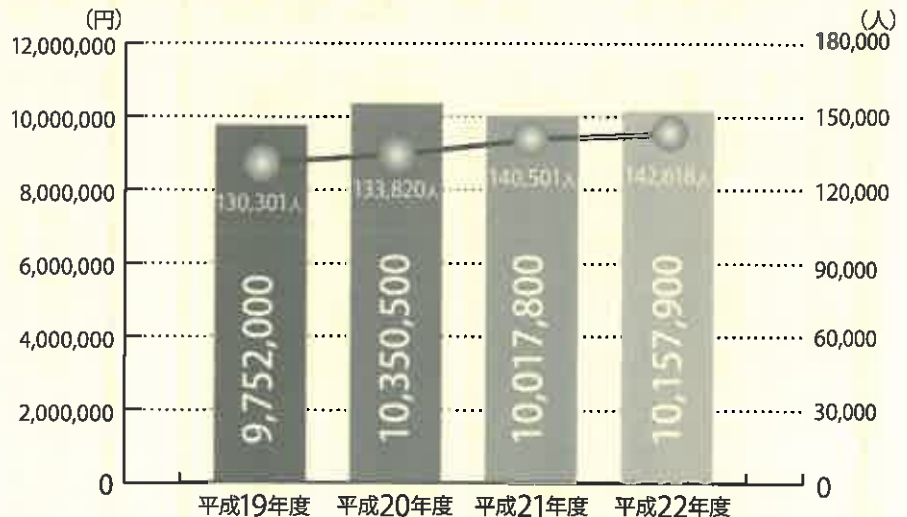
使用済みてんぷら油の回収にご協力お願いします

ふれあいバスは、使用済みのでんぷら油を精製し、燃料として使います。経費削減のためにも、使用済みてんぷら油の回収にご協力をお願いいたします。

運行収入と乗降者数の推移

運行収入をみると、平成20年度に及ばないものの、前年度から増加傾向にあります。また、乗降客数も、平成19年度から少しずつ増加。これは、昨年度、北海道医療大学の1便を大学の講義1講目に合わせたことで、大幅に利用者が増え、通学用として定着したことがわかります。

※平成22年度の収入・乗降者数の合計は、昨年度からの伸び率を昨年度の2月と3月の実績に乗じて予測値として示しています。



コミュニティバス、
本バス通信へのお問合せ

当別町地域公共交通活性化協議会事務局(当別町企画部企画課内)
〒061-0292 当別町白樺町58-9 TEL0133-23-3042 FAX0133-23-3206

当別ふれあいバス

市街地循環線沿線にお住まいの方へ、アンケート調査のお願い

当別ふれあいバスの市街地循環線は他の路線に比べ、利用者が少ない状況であり、利用者の増加がかねてからの課題となっております。

市街地を回る唯一の路線をより利用しやすいふれあいバスにするため、3月上旬に市街地循環線沿線にお住まいの方を対象に、アンケート調査を実施いたします。多くの方からご意見をいただき、今後の安定的な路線構築に活用させていただきますので、ぜひご協力をお願いいたします。

ふれあいバスは、1月の大雪でも運行！

今年の1月は、記録的な大雪となり、交通渋滞をはじめ交通機関のマヒで、みなさん大変な思いをされたのではないかと思います。しかし、この大雪の中でも、ふれあいバスは運休や時間の遅れでご迷惑をおかけしたこともございますが、運休は1日のみで遅れながらも運行いたしました。

天候の悪い日は、自家用車の利用を控え、大雪でも運行しているふれあいバスをご利用ください！



サービス・接遇研修をふれバ運転手に行いました

交通事業者の接遇マナー向上を目指す

1月29日(土)、田西会館で、当別ふれあいバスの乗務員を対象にした、サービス・接遇研修を行いました。この研修会は、当別町地域公共交通活性化協議会が、ふれあいバス乗務員の接客技術の向上を目的として開催したものです。

講師には、ビジネスマナーや大学の就職対策講座の講師をされている安村真理さん(有限会社ポイスオプサツポロ所属)を迎え、接客業としての身だしなみや言葉遣いなどを中心に実技も交えたとてもわかりやすい内容で行われました。初めて行われたサービス・接遇研修でしたが、参加した14名のふれあいバス乗務員は、みな熱心に講師の話をお聴いていました。今後は、この研修を活かし、よりみなさんに愛されるふれあいバスとなるよう努めていきます。



「交通と環境」の学習を当別小学校で行いました

かしこいクルマの使い方を考える

今回は、当別小学校の5年生3クラスを対象に、「交通と環境」の学習を3時限のカリキュラムで行いました。

授業は2回に分けて行い、1回目の授業では、クルマと地球温暖化の関係や地球温暖化のメカニズムの説明と人の移動による二酸化

炭素の排出量を計算する交通日記の作成の仕方を学習しました。2回目の授業は、生徒のみならずが作成した交通日記をもとに、人の移動で排出された二酸化炭素と消費カロリーについて学習を行ったほか、ふれあいバスの試乗体験も実施しました。

